

事後評価書

事業名	阿津里浜地区海岸 海岸環境整備事業	事業区分	海岸事業 (国土交通省)	室名	港湾・海岸室
事業概要	工期 (下段当初)	平成5年～平成17年	全体事業費 (下段当初)	2,103百万円 (負担率：国10/30：県17/30：市町3/30)	
		平成5年～平成17年		2,537百万円 (負担率：国10/30：県17/30：市町3/30)	
事業目的及び内容	<p>事業目的： 阿津里浜海岸は、志摩半島南端に位置し、太平洋に面した海岸で、海岸の両側が岬で狭まれたポケット状の海岸を呈しており、正面沖合には半球状の小島が浮かぶ自然景観に恵まれた海岸となっている。また、当海岸背後には第三セクターで運営するオートキャンプ場が立地している。当海岸では、砂浜の侵食防止と浸水被害の防止を図ると共に、海岸環境の整備を行うことにより、地域の自然環境や民間の利便施設と一体となって、海岸利用の増進を図ることを目的とし、人工リーフ、突堤、養浜、緩傾斜護岸を組み合わせた面的防護方式による海岸整備を行った。</p> <p>事業内容：整備延長 L=471m 人工リーフ L=140m(1基)、突堤 L=125m(1基)、緩傾斜護岸 L=471m、 養浜 V=61,900m³、排水工 L=66m</p> <p>事業経緯：平成5年度 事業着手 平成5年度～平成16年度 人工リーフ 平成10年度 突堤 平成10年度～平成17年度 緩傾斜堤 平成12年度～平成13年度 養浜 平成17年度 事業完了</p>				
1・事業の効果	<p>1-1 事業の効果</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成17年度の事業完了後、多数の台風が上陸ないし接近したものの、当海岸では海岸保全施設及び背後の施設等に被害は発生せず、防護機能を発揮することができた。 <p>1-2 事業効果の評価</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成22年時点でB/GIは、1.22である。 				
2・事業の環境面への配慮及び事業による環境の変化	<p>2 事業実施による環境面への配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> 当海岸は伊勢志摩国立公園内に位置していることから、人工リーフを採用し、海面上に消波ブロックが突出しないようにした。また、突堤や排水工の被覆材については、ブロックの代わりに石材を使用し、景観に配慮した。 				
3・事業を巡る社会経済情勢等の変化	<p>3-1 背後の防護対象の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> 当海岸の背後は、多くの利用者が毎年訪れるオートキャンプ場や、観光施設が整備されているため、防護の必要性は依然として高い。 <p>H8 志摩オートキャンプ場完成 H21 志摩市観光協会志摩案内所を海女小屋体験施設へと改装</p>				

3-2 利用状況の変化

- ・ 当海岸では、経年的な海岸利用者数の計測をしていないため、利用者数において当海岸の関心の深い、志摩オートキャンプ場の利用者数の経年変化を調べた。その結果、キャンプ場の利用者は、平成16年度以降増加傾向にあった。これは、当海岸では、養浜の整備を平成12年～13年に実施後しており、養浜実施後、海水浴等を目的としたキャンプ場利用者数が増加したことが原因として考えられ、これに伴い海岸利用者数も増加していると推測される。
- ・ 平成17年の志摩大橋の完成により、当海岸まで国道260号バイパスを経由して行けるようになった。バイパス開通前の現道は、幅員が狭く、自動車のすれ違いが困難で、観光シーズンには混雑が発生していたが、バイパスの開通により円滑な通行が確保され、利用者数の増加に寄与したと考えられる。

4・県民の意見

4-1 アンケートの概要

- ・ 平成22年9月 阿津里浜海岸の周辺住民（35世帯）に対して周辺住民アンケートを実施。
（回答数13世帯 回答率37.1%）
- ・ 平成22年7月末から8月中旬の5日間 海岸利用者（289組）に対して利用者アンケートを実施。
（回答数289組 回答率100%）

4-2 安全面に対する満足度（周辺住民アンケート）

- ・ 「満足(42%)」+「どちらかといえば満足(50%)」が92%あり、「不満(0%)」+「どちらかといえば不満(10%)」の10%を上回る結果となりました。

4-3 環境面や景観面に対する満足度（周辺住民アンケート）

- ・ 「満足(39%)」+「どちらかといえば満足(37%)」が76%あり、「不満(0%)」+「どちらかといえば不満(18%)」の18%を上回る結果となりました。

4-4 総合的な満足度（周辺住民アンケート）

- ・ 当事業により地域が活性化されたかという質問については、「活性化が図られた」と回答した方が55%あり、「活性化が図られていない」と回答した方はいなかった。
- ・ 事業全体の総合的な満足度については、「満足(4人)」+「どちらかといえば満足(6人)」が10人あり、「不満」+「どちらかといえば不満」と回答した方はいなかった。

4-5 不満、改善を要する指摘（周辺住民アンケート）

- ・ 計画に住民の意見が反映されていない。
- ・ 海岸が利用し難くなった。

4-6 利用面に対する満足度（利用者アンケート）

- ・ 当海岸を利用して、どのくらい満足されたかという質問については、「満足(60%)」+「どちらかといえば満足(28%)」が88%あり、「不満(2%)」+「どちらかといえば不満(8%)」の10%を上回る結果となりました。

4-7 不満、改善を要する指摘（利用者アンケート）

- ・ ゴミが多い。
- ・ 海がきたない。
- ・ シャワー設備を設置して欲しい。

5・今後の課題等

5-1 事業実施上の課題・問題点

- ・ 事業着手時には、地元住民との間で十分な意見調整を図る仕組みが確立していなかった。
- ・ 海岸利用者が、当海岸をもっと快適に利用出来ることを望んでいる。

5-2 今後実施する事業への留意事項

- ・ 事情効果について分かりやすく、十分な説明を地域住民の方に対して行う。
- ・ 利用面に配慮した海岸とするため、事業実施前に地元の観光部局や、背後の地域の方々と調整を行い、改善策を見いだしていく。